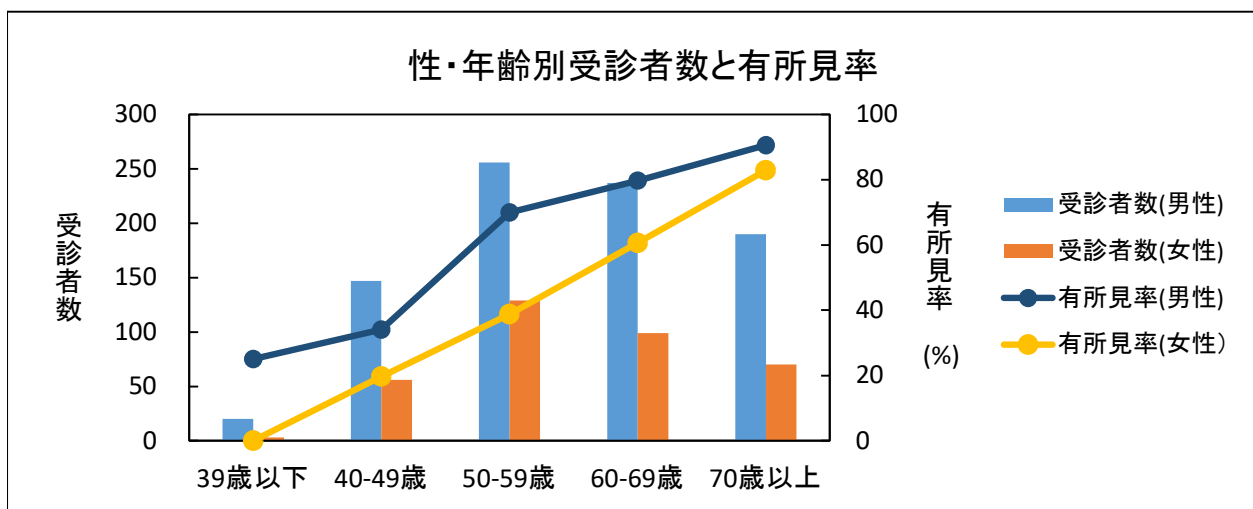


## 頸動脈超音波検査

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C0～C12判定(%)	要精検者数 D・E判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	20	15 (75.0)	5 (25.0)	0	0
	40-49歳	147	97 (66.0)	41 (27.9)	7 (4.8)	2 (1.4)
	50-59歳	256	77 (30.1)	129 (50.4)	35 (13.7)	15 (5.9)
	60-69歳	237	48 (20.3)	125 (52.7)	31 (13.1)	33 (13.9)
	70歳以上	190	18 (9.5)	81 (42.6)	42 (22.1)	49 (25.8)
女性	39歳以下	3	3 (100.0)	0	0	0
	40-49歳	56	45 (80.4)	10 (17.9)	1 (1.8)	0
	50-59歳	129	79 (61.2)	43 (33.3)	3 (2.3)	4 (3.1)
	60-69歳	99	39 (39.4)	48 (48.5)	4 (4.0)	8 (8.1)
	70歳以上	70	12 (17.1)	38 (54.3)	8 (11.4)	12 (17.1)
計		1,207	433 (35.9)	520 (43.1)	131 (10.8)	123 (10.2)

頸動脈超音波検査の受診者は1,207人、このうち要精検者数131人(10.8%)、治療中の受診者は123人(10.2%)でした。



受診者数は1,207人、このうち有所見者は774人(64.1%)。加齢とともに動脈硬化が進む傾向が顕著に見られ、70歳以上の男女では有所見者数230人(88.5%)でした。

